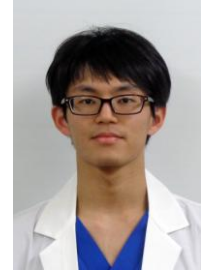


和歌山病院での実習を終えて



大谷 侃

今回、ポリクリの一環として、2日間和歌山病院で実習させていただき、結核の講義やレントゲンの読み方を教わり、結核病棟を見学するという数少ない経験が出来ました。

そこでは、座学ではなかなか頭に残らないようなことでも、筋道だった理論を立て理解をして自分で考えられるようになるという、普段では十分に時間が使えず出来ないであろうトレーニングをしました。南方病院長の「レントゲンを読めるようになりたいか？」の一言から始まった読影の講義は、今までの読めない自分から読める自分になる貴重なきっかけになったと同時に、さまざまなレントゲンを自分から読みたいという興味も抱かせる内容でした。また、駿田副院長の結核の講義も、なぜそのような病態になるのかを理論的に考え、そしてその上で病棟をまわることによって、一層印象深く忘れない知識となりました。

最後になりましたが、和歌山病院でお世話になった南方病院長、駿田副院長をはじめ、スタッフの方全員に感謝申し上げます。大変ありがとうございました。